

## 6. 豊かな自然、素朴な風土、個性的な文化の形成

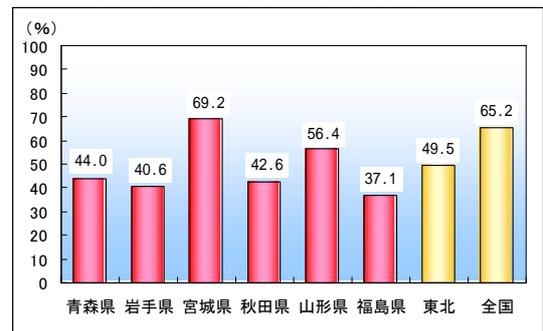
東北地方は、世界自然遺産など美しく豊かな自然環境、素朴な風土、個性的な文化が形成されており、これらを将来に引き継いでいく必要がある。

- ・ 東北地方には、世界自然遺産に登録されている白神山地をはじめとした、美しく豊かな自然・文化資源が点在しており、祭りや雪国独自の文化も数多く存在している(図)。
- ・ 東北地方の各都市の風土を活かし、観光による交流人口の増大など地域経済の活性化を図ると共に、周辺の自然環境と調和の取れた広域的な地域づくりを進めていくことが重要である。
- ・ 水環境において川、湖沼、海の汚れの主な原因は日常生活から排出される生活排水の占める割合が大きい。東北地方の下水道処理人口普及率は、全国より低く特に人口5万人未満の市町村での普及率が低くなっている(図、)。
- ・ 宅地等の増加にともない東北における林野面積は、年々減少を続けているなど、貴重な自然が失われることにより、生物の生息可能な環境も年々減少を続けている(図、)。
- ・ 事業を進めるにあたっては、地球温暖化問題等世界的な問題も見据えながら、東北の豊かな自然の保全に配慮した整備を進めていくとともに、限りある資源の有効利用やリサイクルを推進していく必要がある(図、図)。

図 東北における主要な自然・文化資源



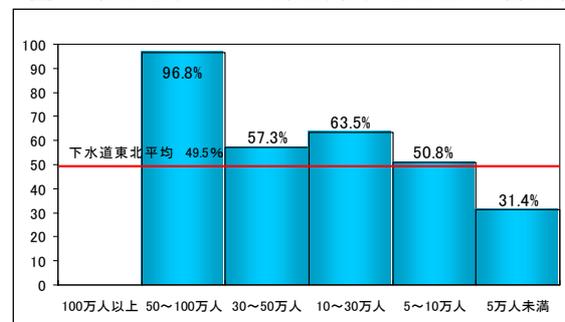
図 東北地方の下水道処理人口普及率



資料：東北地方整備局資料(平成14年度末)

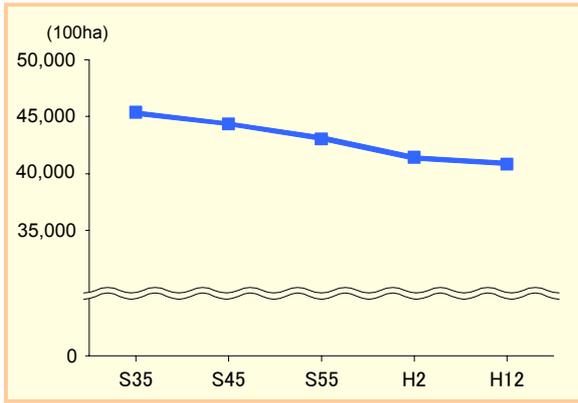
※下水道処理人口普及率(%)=処理区域内人口÷総人口×100  
(総人口に対して、下水道を利用できる人口の割合)

図 東北地方の人口規模別下水道処理人口普及率



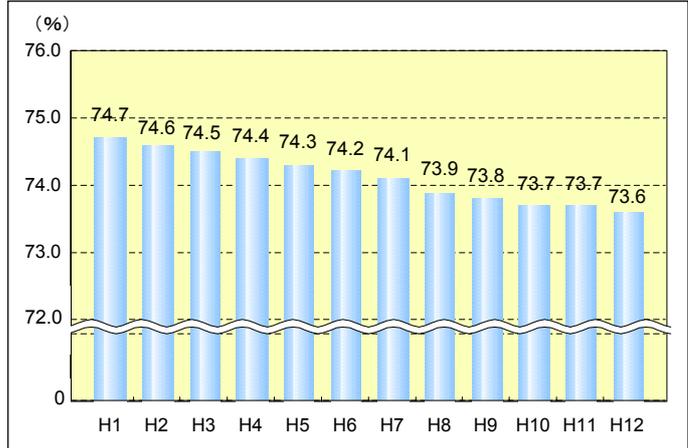
資料：東北地方整備局資料(平成14年度末)

図 東北における林野面積の推移



資料:各年農林業センサス

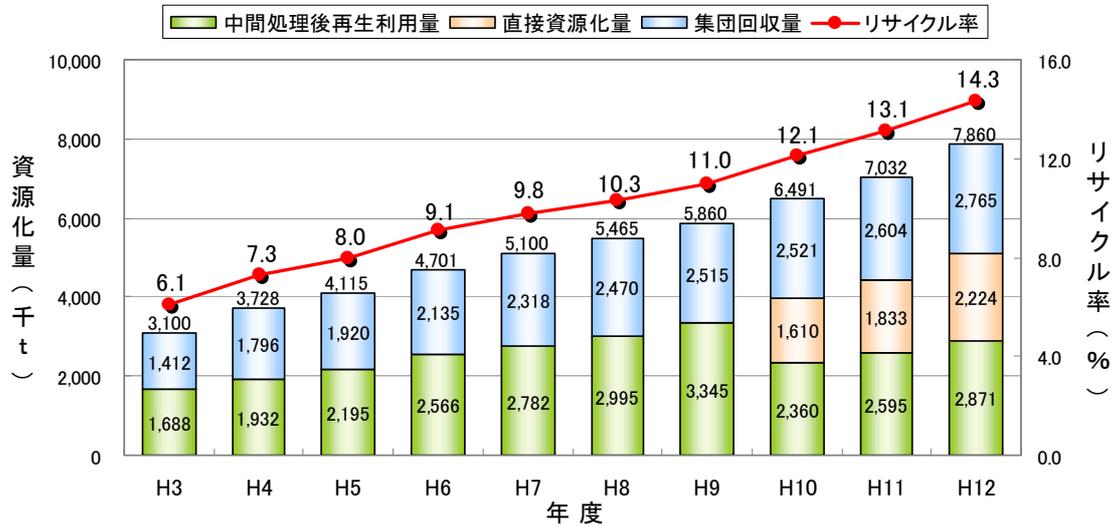
図 宮城県における陸域生物生息環境指標の変化



注) 陸域生物生息環境指標:陸上生物の生息環境を潜在自然植生をもとに計測したもの

資料:平成14年宮城県環境白書

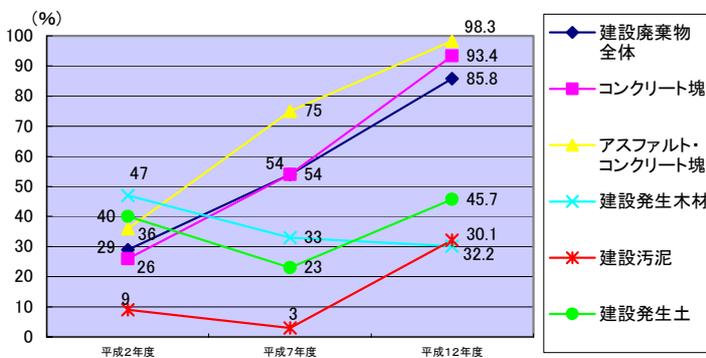
図 総資源化量とリサイクル率の推移(全国値)



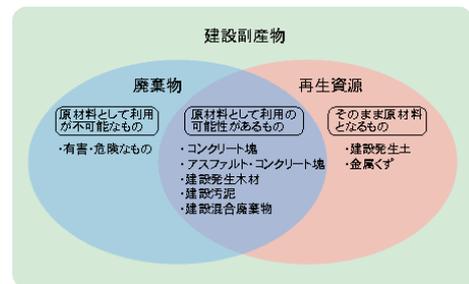
注)・「中間処理後再生利用量」とは、資源ごみ、粗大ごみ等を処理した後、鉄、アルミ等を回収し資源化した量である。  
 ・「集団回収量」とは、市町村による用具の貸出、補助金の交付等で市町村登録された住民団体によって回収された量をいい、ごみの総排出量に含めていない。  
 ・平成9年度までは、「直接資源化量」は「中間処理後再生利用量」に計上されていたと思われる。  
 ・リサイクル率(%)=[直接資源化量 + 中間処理後の再生利用量 + 集団回収量] ÷ [ごみの総処理量 + 集団回収量]

資料:環境省 平成15年1月 日本の廃棄物処理(平成12年度版)

図 東北地方における建設副産物 再資源化等率の推移



資料:東北地方整備局資料



建設副産物:一般に、建設工事に伴い副次的に得られる物品のこと